



中央大学ELSIセンター・大阪大学社会技術共創研究センター

ELSI大学サミット

アカデミアにおける取り組み・ELSIと社会的課題

ソーシャルデータ・ネット世論研究 からみる先進AIと社会的課題

2025年3月16日

立教大学社会学部

社会情報学会(SSI)会長

木村 忠正

tdmskmr.hatenablog.com

講演者プロフィール

学術的出自

ニューヨーク州立大学バッファロー校、東京大学大学院で文化人類学を専攻。Ph.D. (人類学)
サイバースペースをフィールドとする人類学が基点

調査研究領域

- ✓ メディア・コミュニケーション、情報行動研究
- ✓ ハイブリッド・エスノグラフィー (定量定性融合法)
- ✓ デジタル (ソーシャル、AI) ネイティブ研究
- ✓ デジタルデバイド研究
- ✓ LDASU (Log Data Analysis of Smartphone Use、スマートフォン大量ログデータに基づく情報行動調査)
- ✓ ネット世論研究 (炎上、ヘイト、フェイク、分断など)





本日お話しする理論的枠組にもとづいた「石丸・斎藤現象」の分析を朝日新聞Re:Ronに取材いただきました

朝日新聞 > 連載 > メディア・公共 > 記事

二つの知事選を左右した「マスコミは既得権益の代表」とみなす視線

有料記事

開き手・真鍋弘樹 2025年2月10日 15時00分

朝日新聞 > 連載 > メディア・公共 > 記事

人を見下す態度と自尊感情、少数派への非寛容が動かした選挙結果

有料記事

開き手・真鍋弘樹 2025年2月10日 15時01分

木村忠正の仕事部屋（ブログ版）

ネットワーク社会論、デジタル人類学・社会学研究者のブログです。

2025-01-26

マスコミ既得権益批判・道徳心理・非少数派政治
～石丸現象・斎藤現象の背後にあるもの～その1



<https://tdmskmr.hatenablog.com/entry/2025/01/26/093731>

<https://www.asahi.com/articles/AST262SD6T26UPQJ007M.html>
<https://www.asahi.com/articles/AST263FW9T26UPQJ008M.html>

ELSI大学サミットに参加させていただき、改めて小職の報告とパネルディスカッションを踏まえて、「人類はSDOを飼いならすことができるのか？」という小論を拙ブログに投稿いたしました。ご高覧賜れば幸いです。

<https://tdmskmr.hatenablog.com/entry/2025/03/19/102038>

木村忠正の仕事部屋（ブログ版）

ネットワーク社会論、デジタル人類学・社会学研究者のブログです。

2025-03-19

人類はSDOを飼いならすことができるのか？
～ELSI大学サミットに参加して～

ヒト・AI・ELSI*1

2025年3月15・16日に中央大学後楽園キャンパスで、「ELSI大学サミット」（中央大学ELSIセンター、大阪大学社会技術共創研究センターの共催）が開かれました。

筆者は、16日午後の「アカデミアにおける取り組み・ELSIと社会的課題」というセッションで、「ソーシャルデータ・ネット世論研究からみる先進AIと社会的課題」というタイトルで講演を行い、サミットプログラムの締めとなるパネルディスカッション「AIと人間の構想力の未来」でパネリストを務めました。

昔話で恐縮ですが、筆者は、大学の副専攻で「科学史・科学哲学」を専攻（主専攻が「文化人類学」）し、村上陽一郎先生の薫陶を受け、科学技術社会論（STS：Science and Technology Studies）分野に関心をもち続けてきました。日本におけるSTS的研究にとって重要なJST・RISTEX（社会技術研究開発センター）でも、2001～2007年度、2011～2019年度、領域アドバイザーとして関わりました。





人工知能科学研究科:AI技術 x リベラルアーツ

国内唯一のAI特化大学院

2020年度設置された国内で唯一の人工知能に特化した大学院

AI技術の高度な専門知識と実践能力を育成

基礎人工知能、応用人工知能、データ駆動科学の3つの領域をカバーし、複合領域型の研究を推進

リベラルアーツ教育の重視

立教大学ならではのリベラルアーツ教育を重視し、AI技術と社会科学、人文科学などの知識を融合することで、倫理的・法的・社会的な側面からAIを理解し、社会に貢献できる人材を育成

ELSIの専門家も専任教員として配置し、教員間でも先進AIとELSIへの対応の方向性を共有



社会学部ソーシャルデータサイエンス(SDS)コース: 社会学的思考 x ソーシャルデータ x データサイエンス

コースの目的

本コースは、現代社会のデジタル化・データ化・AI化に対応し、社会学的思考とデータサイエンスを身につけ、現代社会の可能性と課題にチャレンジできる21世紀の教養人を育成することを目的

現代社会の可能性と課題に挑む

社会学にデータサイエンスを活かすとともに、社会学が蓄積してきた「ソーシャルデータ」の分析を発展させることで、現代社会の課題を発見・分析し、Civic Tech・データを活用したソリューション提言ができる力を養うカリキュラム

SDSコースでの AIリテラシー教育

1

技術的知識の修得

2

倫理的視点の育成

3

実践的応用の促進

- 先進AIに関する技術的知識とリテラシーを積極的に修得
- AIの倫理的な側面を理解し、責任あるAI利用を促進する学習課題
- AI技術を社会課題の発見・分析・解決に応用できる能力の育成



「ネット世論」から AIと「モラル」を考える

OPOS:

Online Public Opinion Study

OPOSアンケート調査

2015年から2024年にかけて、5回のウェブ調査と1回の訪問留置式調査

OPOSソーシャルデータ分析

2015年4月・2016年7月：Twitter、2ちゃんねる、Yahoo!ニュースコメント、ブログ（Ameba、excite、Goo、楽天、Yahoo!、Livedoor、Biglobe、FC2、seesaa、jugem、cocologの11サービス）

2020・21年「新型コロナワクチン不妊」、2024年パリ五輪（Twitter対象）



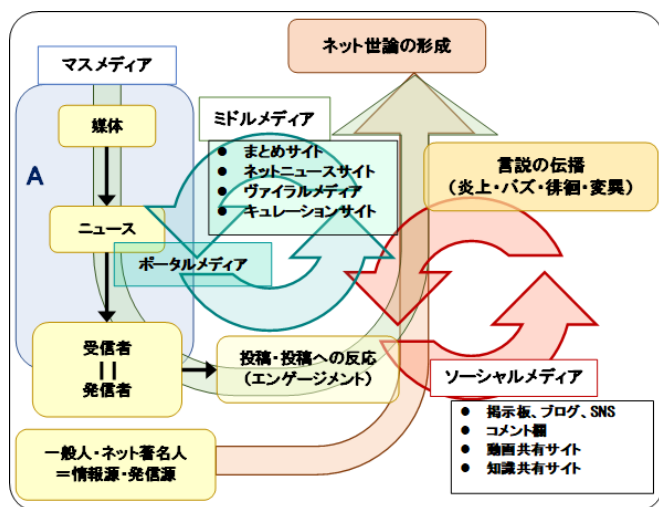
OPOSソーシャルデータ分析 2015・2016概要

	2015年4月			2016年7月		
	7日間計	1日平均	分析対象	16日間計	1日平均	分析対象
Twitter	4.5億	6500万	60万	8.6億	5350万	127万
2ch	415万	60万	6.25万	1200万	250万	742万
ブログ	200万	100万	23.3万	250万	15万	71.5万
Y!コメント	81万	11.5万	18.5万	310万	18万	60万

講演者作成

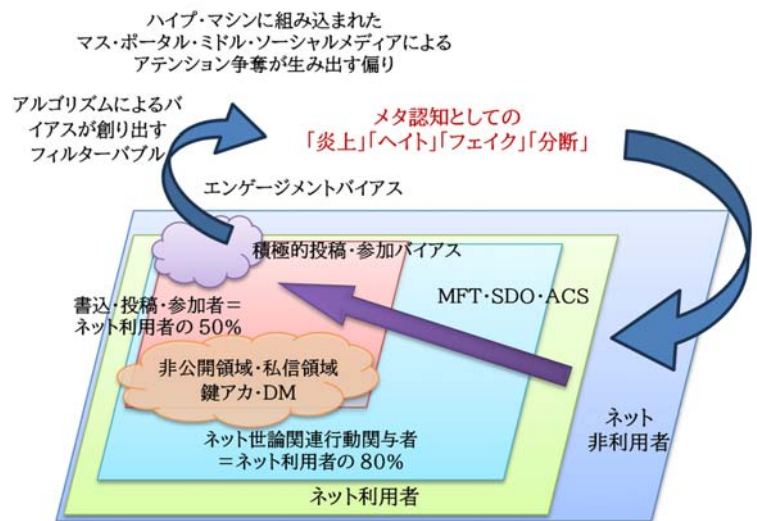
『ネット世論の構造』(新曜社、近刊)

ネット世論形成回路



講演者作成

ネット世論形成バイアス



講演者作成



ネット世論の動因としての「モラル」

MFT・SDO・VTC

ネット世論で、投稿、共有、拡散等の行動をおこなう動因として、道徳心理が強く働く

MFT (Moral Foundations Theory)

Jonathan Haidtらにより1990年代から展開された進化心理学的なモラルに関する理論。現生人類におけるモラルを、社会集団において、個体の利己的行動（欺瞞、搾取、裏切り）を抑制し、利他的、協力的行動を促す心理的メカニズム（情動を核とした複数の道徳基盤）と捉える

道徳基盤には、困った人、弱った人を助けるケア・配慮（⇔他者を傷つけることへの怒り・嫌悪）、公平、公正さの尊重（⇔私利私欲、二重基準の蔑視・非難）など個人主義的価値、

自分の属する集団（内集団）への服従（⇔裏切り者制裁、外集団蔑視）、伝統的規範尊重（⇔規範逸脱への非難・制裁）など集合主義的価値

発表者の研究では、MFT集合的価値がネット世論への関与を強めることが示された



ネット世論の動因としての「モラル」

SDO(Social Dominance Orientation)

Sidanius, Prattoらによりやはり1990年代から展開された社会的階層維持と不平等に関する理論（Social Dominance Theory）の中核的概念

集団間での偏見、差別を説明する理論として発展し、一般化された偏見（民族・人種、性的志向性、信仰、障碍などの背後に措定される一般化された偏見）を説明する強力な要因

ヒトの社会を異なる集団間の競合関係として捉え、集団間優劣を是認して、外集団を蔑視する（自集団優位を誇示する）世界観を表しており、ネット世論での表出を促す傾向

VTC(Virtual Type Competency)

2000年代、速水敏彦らが「キレル若者」論として提起した「仮想的有能感」に基づく

「自尊感情」と「他者軽視」との組合せから、自尊感情は低い、「ダメな奴が多い」、「知識もないのに偉そうにしている」と

いった「見下す」態度が高い態度を「仮想的有能感」と規定

全能型＝自尊高＋軽視高、仮想型＝自尊低＋軽視高、

自尊型＝自尊高＋軽視低、萎縮型＝自尊低＋軽視低の4類型

炎上・ヘイト・フェイク・分断



マスメディアがボトルネックとして機能しないネット世論は、ソーシャルメディア上で勢いを持つ情報＝アジェンダとなり、炎上、ヘイト、フェイク、分断は、負の側面として、社会的課題と認識されている

しかし、これらは、現生人類の特性に根付いており、単純な解決策はない

- ✓ 炎上＝第三者制裁
- ✓ ヘイト＝集団間競合・紛争、エスニックマーカ
- ✓ フェイク＝自己欺瞞、規範を巡る争い
- ✓ 分断＝集団間競合・紛争、規範を巡る争い

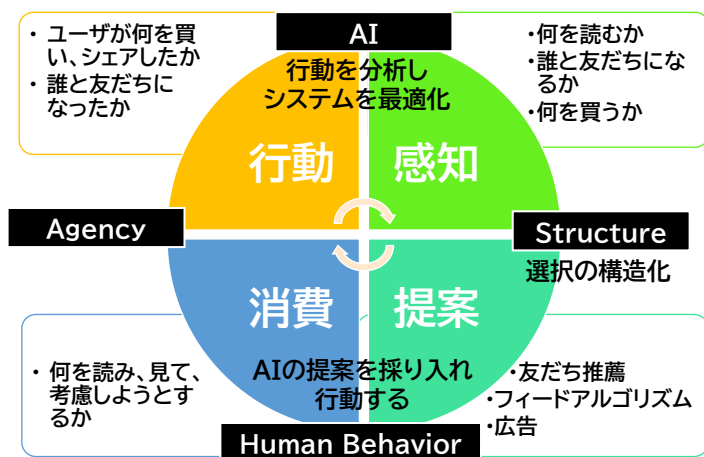
いずれも、多元化した社会において、真実デフォルト内集団を巡る争いがある

いたずらに、メディア、学術が、「炎上」「ヘイト」「フェイク」「分断」をアジェンダ化すべきではないのでは？



ハイプ・マシンとしてのスマホ AIを駆使した「習慣化技術」「説得技術」

- スマホ・アプリは、「手掛かり (trigger) — 予測・期待 — 行動 (action) — 可変報酬 (variable rewards)」の連鎖繰り返しによる習慣形成・強化モデル (Eyal “Hook model”)
- 「説得対象となる人々の態度と行動を、強制ではなく、コミュニケーションを介して (説得者が意図したように) 変容させる」という意味で、「説得技術 (persuasive technology)」 (Fogg) でもあり、そのハイプ・ループに「モラル」が浸透
- モラル情動を刺激するフィード・タイムライン



ハイプ・ループの構造 (Aral 2021:73の図をもとに発表者作成)

Aral, Sinan, 2021, The Hype Machine. NY:Currency.

新型コロナ禍・ワクチン誤情報



- 2020年1月新型コロナウイルスによるパンデミック
- m-RNA、DNAを用いたワクチン開発が急ピッチで展開⇒臨床試験を経て、2020年11月には欧米で緊急使用許可
- 日本でも2021年にワクチン接種を国民規模で行うための準備が進む（21年2月から医療従事者接種、4月高齢者接種開始）
- ワクチン開発が進展し、実用化が近づくと、「（mRNA）ワクチン接種で不妊になる」「富裕層が（貧困層・中間層を）不妊させ人口減少を謀っている」「ワクチンを打つと遺伝子操作される」「ワクチンにマイクロチップが入っており、携帯電話の5Gに接続し、操作される」といった誤情報がネットで拡散し始める

ワクチン争点の二項対立フレーミング

ワクチン賛成・肯定
科学的

二項対立・分断
一次元

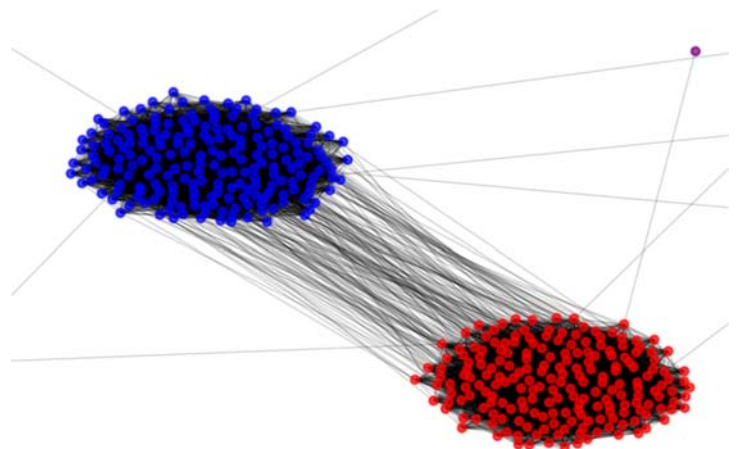
ワクチン反対・否定
非科学的



「ワクチン推進・科学的」⇄
「反ワクチン非科学的」の
単純な二項対立フレーミング



Twitterの投稿・リツイート関係を可視化することで、「エコーチェンバー」「分断」と分析・報道



Twitterの投稿・リツイートによるワクチン賛成・反対アカウントのイメージ（DALL-Eを用いて筆者作成）
以下のNHKによる報道も参照

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20210810/k10013192071000.html>

「デマ」「フェイク」 と断じることによる ミスコミュニケーション

- ・ 「ワクチン賛成・推進・科学的」⇔「ワクチン反対・否定・非科学的」と単純な二分法で、ワクチンへの懐疑、副反応への懸念を「反ワク」「デマ」「フェイク」とラベル貼り
- ・ だが、ワクチン・不妊のツイートを具体的にみると、「個体としての実存性」とそれに由来する不確実性への懸念、躊躇いが大きい
- ・ ワクチンに対する科学的理解があったとしても、いくら重篤な副反応の確率が低いとはいえ、自分（の家族）に重篤な副反応がおき、場合によっては死に至る可能性は否定しえない
- ・ 誰にその運が巡ってくるかは、現状の科学では分からない
- ・ 運悪く、自分（や家族）がそのくじを引くかもしれないという実存的問いを前にした強い躊躇いが吐露される
- ・ 「高校生の娘が言う事聞かずワクチン打つって。友達がみんな打つそうです。修学旅行前にはと。学校が説明しました。ワクチンで不妊にはならない。決めるのは自分自身だと。もう怖くてたまらない」
- ・ 「この先生の言ってることは正しいけど、不妊の私から言わせてもらおうと、今までの行動のあれが原因かも、これが原因かも、というループに陥るんです」

17

ミスコミュニケーションの 形成

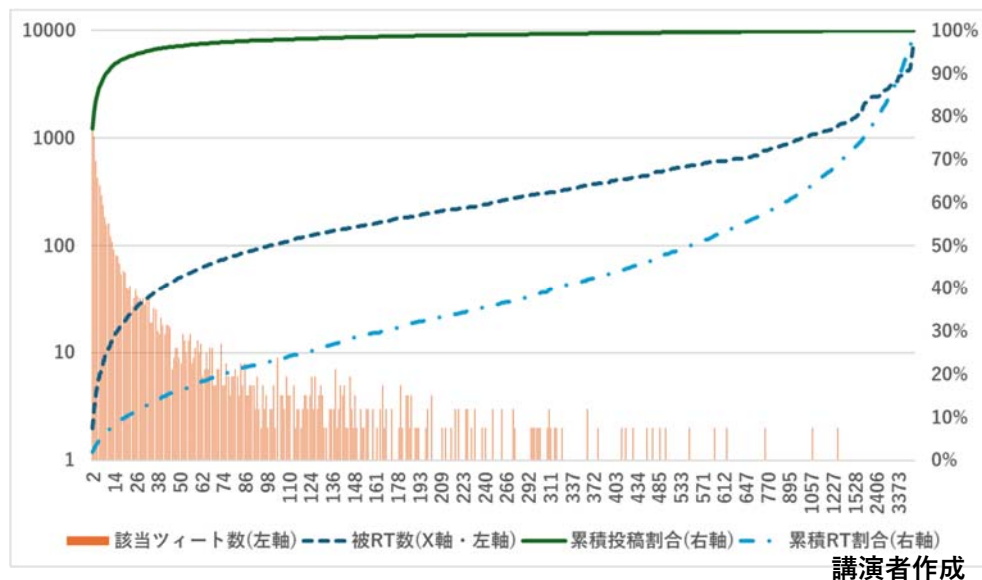
- ・ こうした実存的ワクチン躊躇に対して、リスク論にもとづく合理的選択や疫学的論理で、不妊は「デマ」「フェイク」と説得しようとしても、ミスコミュニケーション
- ・ ところが、ネット上で積極的な医療関係者、メディア、学術研究者がいずれも、「科学」／「非科学・偽科学」の二分法で、ワクチンの有効性への疑念、重篤な副作用への懸念を「反ワク」、「フェイク」、「デマ」と図式化し、強く否定
- ・ フェイクに騙されてはいけないと、誤情報を指摘し、注意を促す行動や、社会全体がワクチンを打つべきなのに、自分勝手だと、ワクチン接種に否定的な人々（「反ワク」）に対して、第三者制裁的情動をいだき、非難する行動へと駆り立てる
- ・ こうしたモラルに彩られた投稿・閲覧が、ハイプ・ループに組み込まれ、バイアスを強化する



18

第三者制裁が引き起こすRTの波

2020年12月から2021年6月（7か月間）オリジナルツイート（OT）1.5万、RT10.5万、合計12万（RTの重複を除くとOT+RTで2.55万）
RT = 0 が56%、9割はRTが10未満（累計RT6%）
RT数上位1%でRTの6割以上を占める



ヒューリスティックス・認知バイアスを社会知に

- ・ 道徳心理を含め、ヒューリスティックス、認知バイアスは、人類の長期にわたる適応の過程で形成された実践的推論の仕組み
- ・ バイアスは決して非合理ではない。私たちは、バイアスを利用することで、日常生活で必要となる多種多様な意思決定を、迅速に、意識せず遂行
- ・ また、真実デフォルト内集団を形成、社会的学習の実践共同体を構築しようとする
- ・ 最も避けるべきなのは、社会の一部の集団（例えばハイプ・マシン企業）のみがバイアスに関する知を占有し、社会が無知の状況
- ・ バイアスとメディアに関する理解を深め、社会としてその理解＝リテラシーを広く流通させ、根付かさせる必要
- ・ 道徳心理について、AIにどのように学ばせ、振舞うようにさせるかは大きな課題





THANK YOU

FOR YOUR
TIME AND ATTENTION

A REFERENCE OF THE WHEELS OF TIME